



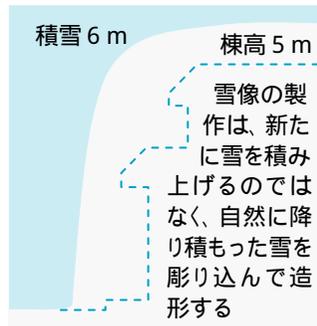
雪旅籠の灯り実行委員長 志田昭宏さん

# 月山志津温泉 雪旅籠の灯り

2月21日(金) ~ 3月2日(日)

点灯 午後6時~9時

出羽三山の主峰、月山詣の参拝者でにぎわった宿場町を雪で再現する「雪旅籠の灯り」。ろうそくがともる幻想的な灯りは、400年の歴史がよみがえる瞬間でもある。6mの豪雪という厳しい条件を宝に変えた地域の力は見事で、工夫された外観と中の作りは、温かさをも感じられる貴重な空間を提供している。



お問い合わせ 月山朝日観光協会 TEL 0237-74-4119



## 雪灯籠 祭

### 平成26年 雪灯籠イベント情報

2月1日(土) **ながい雪灯り回廊まつり**  
長井市中央市街地ほか  
TEL 0238-88-5279 長井市観光協会

2月8日(土) **上杉雪灯籠祭り**  
米沢市上杉神社、松が岬公園一带  
TEL 0238-22-9607 米沢市商工観光課

~ 2月9日(日) **尾花沢雪まつり**  
尾花沢市文化体育施設、徳良湖周辺  
TEL 0237-22-1111 尾花沢市商工観光課

2月27日(木) **金峯山雪灯籠祭**  
鶴岡市金峯神社  
TEL 0235-25-2111 鶴岡市観光物産課

3月22日(土) **おおくら雪ものがたり**  
大蔵村肘折温泉郷、いでゆ館周辺  
TEL 0233-34-6106 肘折いでゆ館



### ろうそくの癒し効果

気持ちを落ち着かせてくれる効果のある“ろうそくの灯り”。

電球のような一定の灯りではなく、不規則なゆらゆら感がリラックス効果をもたらし、脳神経を緩和させてくれる。

また、ろうそくの灯りが脳内に - エンドルフィンなどの快感ホルモンを分泌させ、免疫細胞を活性化し、病気に対する治癒力を高める効果があるといわれている。

# 雪あかり



写真提供：やまがたゆきみらい推進機構

## 11月温まる幻想的な光との出会い

寒さの厳しい冬、温かい灯りがほつこりと心をあたためてくれる。家路の先にぼつと灯りがついていると、なぜかしら嬉しくなり、足取りが自然と早くなってしまう。

県内各所で見られる雪灯籠は、雪を固めて形をつくり、雪の中にもろくを灯したものである。クリスマスイルミネーションとはひと味違った、雪の白さともろくの灯りが

織りなす幻想的な風景が作り出される。また、冬の冷たい空気がさらさらつそくの灯りに温かみを感じさせる。

雪灯籠の形は、雪を固めて作った本格的な灯籠型から、バケツに雪を詰めてひっくり返して穴をあけた簡易なもの、積もった雪を側面から彫り込んで建物の形にしたもの、動物の形にしたものなど、地域ごとにそれぞれ特徴のあるものになっている。みんな一緒につくることで、灯籠ができあがった時の達成感と灯りを灯した時に感動を味わうことも格別だ。

写真は、西川町月山志津温泉で毎年開催されている「雪旅籠の灯り」の様子。志津温泉は積雪が6mにもなる豪雪地で、この地域でしかできないイベントとして平成18年にスタートした。10日間の開催で5千人を超える来場者が訪れる一大イベントになっている。名物のアイスバーでは、オリジナルブレンドのホットワインが楽しめ、身もこころも温めてくれる。

県内では、雪灯籠が各地で造られ、祭りやイベントになっている。

寒い冬にこそ、こころ温まる幻想的な光と出会いに、出かけてみてはいかがだろうか。

